

今、役職定年を目前にして、思うのは、あとどのくらい体の自由が利いて、やりたいと思つたことを実現できるだろうかということです。「生涯学習」は新たなチャレンジを意味する言葉だと思います。新しさを恐れない心で、まだ何の準備もできていない私はですが、小さくとも新たな挑戦をし続けていきたいと考えています。

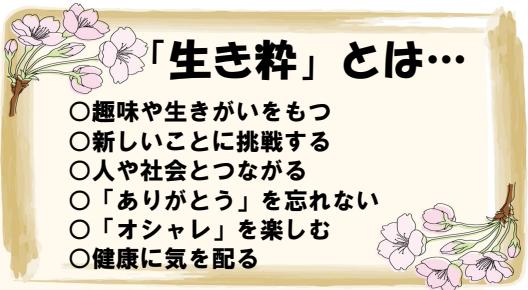
まほらの内側から、窓口を通り抜け各部屋に集う先輩方を見ていると、みなさん実際に楽しそうに取り組んで居られます。二十年前にお見かけした方も、多くの方が現役で活動されていらっしゃいます。楽しさこそが長続きの秘訣なのでしょう。

私は「生涯学習」の関わり前も、学生時代は軽音楽のバンド活動だつたり、社会人、とくに子を授かってからは、その成長にあわせて、スポーツ少年団や生涯学習課が催す数々のイベントにも親子で参加してきました。

□発行・編集 三春町教育委員会生涯学習課

「生き糸」とは…

- 趣味や生きがいをもつ
 - 新しいことに挑戦する
 - 人や社会とつながる
 - 「ありがとう」を忘れない
 - 「オシャレ」を楽しむ
 - 健康に気を配る



私と生涯学習

生涯学習課長 伊藤晴之



岩江さくら峠学級

岩江さくら峠学級

副会長 江嶋 孝男



【明徳大学第54期移動学習(10/31)奥会津方面】

当学級は山田地区、上舞木地区、下舞木地区の三方部の会員で構成されていて、それぞれの地区の頭文字「山」「上」「下」の文字を合わせた「峰」学級」という名称にしていました。現在三一名の会員で、二歳から九一歳までのシニアで構成されていて、月一度の会合を楽しみにしています。健康な方が殆どで皆の笑顔がフレイル予防となっています。

A black and white portrait photograph of Dr. K. S. Yeo, an elderly man with white hair, wearing a dark jacket over a light-colored shirt.

年二回の移動学習があり、特にその日を心待ちにしています。十一月の移動学習は山形方面の日帰り旅行でした。最初は南陽市の熊野大社でガイド付きで案内してもらいました。五十段の階段を登るとき「階段の幅が広くて登りづらいなあ」とぼやいたところ、ガイドさんが「この階段は馬が登れるように幅が広くなっています。」とのこと、すぐに納得してしまいました。本殿の裏には三羽のうさぎの彫刻があつて三羽見つけると願いが叶うとか。隣の女性が「あそこ丸い輪の上に横を向いている一羽がいるよ。」と教えてくれました。目を凝らしても見ても見つけることができません。結局一羽も見つけることが出来なかつたので「私の願い事は何一つ叶わぬか。」と肩を落とした次第です。午後は、高畠町の浜田広介記念館の見学です。彼は異色の童話家で、童話「泣いた赤鬼」は有名だそうです。「日本のアンデルセン」と呼ばれているそうで、恥ずかしながら知りませんでした。記念館は童話のようなかわいい建物で、赤鬼の童話を上映して頂き、新しい知識を出て頭が刺激を受けました。見学も良かつたのですが、昼食は米沢牛釜飯御膳を戴き、お腹も刺激を受けて楽しい一日を過ごして帰つてしましました。今に至つて願い事はしていません。



【舞鶴大学移動学習(11/12)宇宙科学教育研究センター】



【明徳大学第5.3期移動学習(10/16)野口雨情記念館】

中郷さくら学級の活動について

中郷さくら学級 副委員長 川音 栄子



中郷さくら学級は中郷地区（込木・芹ヶ沢・柴原・貝山・滝・蛇石・樋渡・根本・狐田・過足・春沢）の十一地区より構成されています。中郷地区住民の六十歳以上で向学心に燃える者を学級生としています。現在会員は三四名で、委員長、副委員長、庶務、会計、各地区より幹事数名で会の運営にあたっています。



【御木沢清明学級(10/23) 三春駒の絵付け】

健康の増進と会員の交流としてグラウンドゴルフ、ゲートボールも実施しています。ルールが分かる人も分からない人もお互いに助け、教え合っていい、和気あいあい楽しみました。

年数回、一泊移動学習、日本帰り学習も実施しています。本年度は、七月は飯坂温泉、十月は遠刈田温泉に行きました。温泉に入つて日頃の疲れをとり、会員同士、友好の輪を広げて楽しいひとときを過ごして参りました。

年間の活動計画の策定にあたっては月一回の教養、健康、防災、事故防止、制作、移動等の学習、また施設等で清掃奉仕を行うものとし、会員の皆様にもご意見を伺いながら、三役での都度相談しながら進めています。一月の新春講話会、二月の閉講式、三月の定期総会、四月の開講式は恒例行事となっています。

駐在所の鈴木巡查様から「オレオレ詐欺防止」や「事故防止」「出かけるときは、戸締まりをしつかりすること」などのお話をいただき、被害にあ



【要田ひまわり学級移動学習(9/30)福島民報社印刷センター】

すずらん学級との出会い 中妻すずらん学級 庶務 松崎 正夫



私がこの学級の設立にかかわったのは、自分が社会教育指導員として「まほら」で町の明徳大学と各地区の高齢者学級の運営のお手伝いをさせて頂いていた時でした。

奉仕作業は、毎年三春の里田園生活館周辺の清掃作業を行っています。お互い協力しながら作業を進め、お客様が気持ちよく来店されることを願って作業をしています。さくら学級一日の活動の流れは、各地区の集合場所にバスが迎えに来て、学習終了後は一緒に昼食をとります。帰りもバスに乗り、集合場所まで送っています。車の運転の心配もなく、ゆったりとした気持ちで会話することができます。そして笑顔で家路につくことができます。

中郷さくら学級は、日々の暮らしの活力として、楽しく笑顔になる学級です。皆様の参加をおまちしております。

その結果、令和三年四月の設立に向けた学級生募集に始まり、当時の生涯学習課高齢者学級担当の遠藤俊一さんの指導の下、規約、年間学習計

画、収支計画などを作成し、令和三年四月の開講式を迎えた。

今思い起こせば、人間の平均寿命を考えた場合に、自分が何年丈夫で過ごすことができるのかなど、昔は十年ひと昔であったことが、今は五年ひと昔?



【沢石さわやか学級(11/20) フレイル予防と軽体操】